

事務事業評価シート(事後評価)

事業コード 04-01-01	事務事業名 妊産婦・新生児訪問指導事業	所管部課 市民部 健康課
-------------------	------------------------	--------------------

施策コード 笑2-1	施策名 健康づくりの推進	施策目標 乳幼児から高齢者まで、それぞれのライフステージに応じた、からだところの健康づくりを支援します。
---------------	-----------------	---

事務事業の概要	<b>事務事業の目的</b>	根拠法令等
	妊産婦へ家庭訪問の上適切な指導・相談・助言を行い安心して出産・育児にのぞむことが出来るよう支援するとともに、子育て支援に関する情報提供や、親子の心身の状況や養育環境等の把握及び助言を行う。また、支援が必要な家庭に対し適切なサービス提供に結びつけることを目的とする。 母子保健法(訪問指導)、児童虐待防止法(こんにちは赤ちゃん事業)の両法律に基づき実施している。	<input checked="" type="checkbox"/> 法律 <input type="checkbox"/> 条例・規則 <input type="checkbox"/> 政令・省令 <input type="checkbox"/> 要綱・要領
	<b>事業内容・実施方法等/補助の概要</b> ：補助団体の概要(団体名・団体の活動内容・補助金の活用内容等)、補助金の概要(国・都基準の有無・対象者拡大の有無・上乗せ補助額・市単独補助額)等 ※該当する予算事業名・節目を明記する 市内に居住地を有する妊産婦、また里帰り中の生後4か月までの乳児のいる全ての家庭が対象。母子健康手帳交付時に配布している出生通知票等の連絡により、訪問指導員または市保健師が訪問し、母子の健康状態の確認、新生児の体重測定、育児に関するアドバイス等を行う。訪問結果については月1回症例検討会を開催しアセスメントを行い、継続支援が必要な場合は担当保健師によるフォローを行う。平成23年度より、産後のメンタルヘルス対策のため、訪問時にエジンバラ産後うつ評価票(E PDS)を導入する。(予算:4.1.3.15)	
事業開始時期	9 年度	実施形態 <input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他 ( )

項目	単位	20年度	21年度	22年度	23年度
事業費(A)		8,325	7,841	8,532	12,375
財源内訳					
国庫支出金・都支出金		6,003	4,989	6,048	6,580
地方債	千円	0	0	0	0
その他( )		0	0	0	0
一般財源		2,322	2,852	2,484	5,795
所要人員(B)	人	0.23	0.23	0.23	0.23
人件費(C)=平均給与×(B)	千円	1,878	1,858	1,858	1,878
臨時職員賃金等(C')	千円	0	0	0	0
総コスト(D)=(A)+(C)+(C')	千円	10,203	9,699	10,390	14,253
単位当たりコスト(E)=(D)/(出生数)	千円	6	6	6	8

活動等指標	単位	20年度	21年度	22年度	23年度
① 出生数	実績値 人	1,663	1,597	1,683	1,900
② 訪問実数	実績値 人	1,467	1,525	1,555	1,900
《指標の説明・数値変化の理由 など》					
【訪問実数】 3～4か月児健診前までに訪問指導員及び常勤保健師が行った訪問の実数					
成果指標	単位	20年度	21年度	22年度	23年度
一 常勤訪問率(実数)	目標値 %	10	10	10	10
	実績値 %	8.7	10.2	11.3	
二	目標値				
	実績値				
《指標の説明・数値変化の理由 など》					
【常勤訪問率】 訪問実数のうち常勤訪問実数の割合。常勤は今後もフォローが必要と考えられるケースを訪問する。目標値は利用する評価票の文献での値(フォローが必要と考えられるケースの出生数に対する割合)					

事業環境等	市民・関連団体等の意見(アンケート結果など)	話をきいてもらえてよかった、心配なことや不安が解消した等、肯定意見が多数を占めている。上子のいる家庭からは、忙しく時間の都合を合わせづらい。 <3～4か月児健診時のアンケートより>
	都内26市のサービス水準との比較(平均値、本市の順位など)	<input checked="" type="checkbox"/> 上 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 下 新生児訪問率 平成20年度：東京都51.7%・市部54.5%・西東京市87.0%(2位) 平成21年度：東京都60.8%・市部60.9%・西東京市97.1%(1位) エジンバラ産後うつ評価票の導入、症例検討会で質向上に取り組んでいる。
	代替・類似サービスの有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 代替・類似サービスはない。

事業コード 04-01-01	事務事業名 妊産婦・新生児訪問指導事業	所管部課 市民部 健康課
-------------------	------------------------	--------------------

施策コード 笑2-1	施策名 健康づくりの推進	施策目標 乳幼児から高齢者まで、それぞれのライフステージに応じた、からだところの健康づくりを支援します。
---------------	-----------------	---

【一次評価】

検証項目	ランク	一次評価	○検証項目、評価の判断理由 ○事業実施上の課題や今後改善すべき点等
A	事業の優先度 (緊急性)	2	<input type="checkbox"/> 拡充  <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施  <input type="checkbox"/> 改善・見直し  <input type="checkbox"/> 抜本的見直し  <input type="checkbox"/> 休止  <input type="checkbox"/> 廃止
	事業の 必要性	3	
	事業主体の 妥当性	3	
B	直接のサービスの 相手方	3	
	事業内容等の 適切さ	3	
	受益者負担の 適切さ	3	
C	市民ニーズの 把握	3	

こんにちは赤ちゃん訪問は全数(100%)訪問を目標とする国の推奨事業である。西東京市では常勤保健師や訪問指導員(助産師及び保健師)が家庭に訪問している。現在訪問率は高い水準を保っており、これを維持するためには引き続き市が主体となって事業を実施する必要がある。  
 平成23年度より、EPDS(エジンバラ産後うつ評価票)を取り入れることにより、母親のメンタルヘルスや育児に関する状況や気持ちなどのハイリスク要因を把握することができ、早期支援が行えるよう体制を整えていく。EPDSの実施にあたっては、今後検討し見直しをしながら実施していく必要が考えられる。  
 3~4か月児健診のアンケートに赤ちゃん訪問に対する意見を記載する欄を設け、市民の事業に対する率直な意見を聞くことが出来る。  
 ・平成21年度新生児訪問率は都内で1位であった。

検証項目の見方 A:事業実施の意義を検証する項目 B:事業の内容・実施方法を検証する項目 C:市民ニーズの反映度を検証する項目

【二次評価】

検証項目	ランク	二次評価	○検証項目、評価の判断理由 ○事業実施上の課題や今後改善すべき点等
A	事業の優先度 (緊急性)	2	<input type="checkbox"/> 拡充  <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施  <input type="checkbox"/> 改善・見直し  <input type="checkbox"/> 抜本的見直し  <input type="checkbox"/> 休止  <input type="checkbox"/> 廃止
	事業の 必要性	3	
	事業主体の 妥当性	3	
B	直接のサービスの 相手方	3	
	事業内容等の 適切さ	3	
	受益者負担の 適切さ	1	
C	市民ニーズの 把握	2	

国基準では必ずしも保健師、助産師が訪問しなければならないというものではないが、本市では事業立ち上げ当初から保健師、助産師があたっている。専門家による質の高いきめ細やかな指導を実施中での高い訪問率は評価できる。本事業で未訪問となった家庭にもフォローがなされていることからすると、ほぼ100%把握がなされていると推測できる。今後は、EPDSの導入に当たって更なる検証を深め、母子の健康増進と児童虐待防止に一層資することを期待する。

検証項目の見方 A:事業実施の意義を検証する項目 B:事業の内容・実施方法を検証する項目 C:市民ニーズの反映度を検証する項目

【行革本部評価】

行革本部評価	評価の判断理由及び事業実施上の課題や今後改善すべき点等
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	<p>本事業については、二次評価でも記載のあるとおり、国基準を上回る高水準で事業実施しているところであり、専門職の家庭訪問による不安解消や障害等の早期発見、症例検討会によるアセスメントを踏まえた個別フォローなど、積極的・重層的な取組は高く評価できる。今年度から新規導入したEPDSについて評価・検証をしながら、今後も意欲的に取り組またい。</p>